

令和2年度 幼稚園アンケート調査結果

深谷市立藤沢幼稚園長 鴻野 年伸

ご協力ありがとうございました。

A…当てはまる B…やや当てはまる C…あまり当てはまらない D…当てはまらない

○アンケート項目

(結果は% で処理)

幼稚園教育目標について		A	B	C	D
(1) なかよく	・友だちといっしょによく遊んでいる。	64.7	35.3	0	0
	・友だちにやさしくしている。	47.1	52.9	6.7	0
	・自分の気持ちを相手に伝えている。	35.3	58.8	5.9	0
	・集団生活の基本が身につく、みんなといっしょに行動している。	58.8	29.4	11.8	0
(2) かしこく	・自分の気持ちを伝えようとしている	52.9	41.2	5.9	0
	・その場に応じた「あいさつ」をしている。	35.3	47.1	17.6	0
	・人に頼らず自分で解決しようとしている姿が見られる。	35.3	41.2	23.5	0
	・自分の好きな遊びを充分楽しんでいる。	82.4	17.6	0	0
(3) たくましく	・外で元気よく遊ぶことが多い。	64.7	35.3	0	0
	・初めての経験でも意欲的に取組もうとしている。	41.2	41.2	11.8	5.8
	・途中であきらめず頑張ろうとする姿が見られる。	29.5	52.9	11.8	5.8
	・早寝早起きができ、朝食を欠かさず取っている。	58.8	41.2	0	0

幼稚園教育活動について		A	B	C	D
①	子どもは、幼稚園が好きである	82.4	17.6	0	0
②	子どもは、大好きな友達がいる	82.4	17.6	0	0
③	遊びを中心とした体験を通して子どもに豊かな学びを促している	94.1	5.9	0	0
④	基本的な生活習慣を身につけることができるよう保護者と連携をしている	88.2	11.8	0	0
⑤	幼児の安全に関する適切な指導が行われ、明るく過ごしやすい環境である	88.2	11.8	0	0
⑥	幼稚園から小学校へスムーズにつながるよう藤沢小と連携をしている	82.4	17.6	0	0
⑦	参観・懇談会や様々な行事は、子どもの様子や育ちがよく分かり幼稚園教育の意義を知る機会となっている	88.2	11.8	0	0
⑧	幼稚園は、地域活動に協力的で、連携を図りながら、子どもたちの指導にあたっている	82.4	17.6	0	0
⑨	幼稚園の教育活動が、園だより、クラスだより等を通して、分かりやすく伝えられている	94.1	5.9	0	0
⑩	教師は、子どもをよく理解し、一人一人を大切にしたい指導を心がけている	100	0	0	0
⑪	預かり保育があつて良かった	88.2	11.8	0	0
⑫	「3つのめばえ」が家庭でも話題になって意識が高まり良かった	35.3	52.9	11.8	0

※アンケートの結果を受けて（保護者の意見・要望・意見等について）

・貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。幼稚園運営、園児の保育に反映させていきたいと思えます。

ご意見等

運動会や発表会、こま回し、なわとび等その時々で挑戦や努力をする機会を作っていただき、がんばれるように声かけや指導をしていただいたので、向上心を持って一年間過ごすことができたと思えます。

先生方は大変温かく子供達と接して下さっています。先生方のことが大好きだと言っております。いつもありがとうございます。我が子は食べ物の好き嫌いがあるため給食の時間が好きではないそうなのですがその時間以外はとても楽しいそうです。感謝しております。

コロナの影響で行事が少なかったのですが、先生方が色々考えて下さり、毎日「楽しかったー。」と笑顔で帰ってくる子供を見て、嬉しく思いました。

行事がなかったのは残念でしたが園生活は充実していたようです。

幼稚園にあずけてよかったです。ありがとうございました。

毎日幼稚園での出来事を楽しく話してくれて、親としてとても嬉しく思えます
小学校もみんなと一緒になので仲よく過ごしてほしいです。

*ご意見等に対して

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組により、お子様の教育活動に大きな影響が及んでしまったことに対して、申し訳なく思う気持ちでいっぱいです。本来体験していただくべき行事や取組ができなかったり、形を変えざるを得なかったりしたこの一年であったように思えます。

そうした中でも、何ができるか、どんなことをすれば、お子様の成長につなげることができるといふことに精一杯取り組ませていただきました。

バスの中で楽しく遊びながら遠足に行きたい。保育参観日などにお父さんやお母さん、そしておばあちゃんやおじいちゃんに来ていただき、また地域の皆様にも大勢お出でいただき、活躍している藤沢幼稚園のよい子の姿を見ていただきたい。等々たくさんありましたが実現できなかったものもたくさんありました。

このような中で「これができなくても、あれならできる・・・」「これはどうしてもやっではいけない。だからこちらをこんなふうに見よう・・・。」等々と、できることを一生懸命に探し、工夫を凝らして取り組んできた一年間でした。

幸いにも「その時々で挑戦や努力をする機会を作っていただき、がんばれるように声かけや指導をしていただいたので・・・」「先生方は大変温かく子供達と接して下さっています。先生方のことが大好きだと言っております・・・」「先生方が色々考えて下さり、毎日『楽しかったー。』と笑顔で帰ってくる子供を見て嬉しく思いました・・・」「食べ物の好き嫌いがあるため給食の時間が好きではないそうなのですがその時間以外はとても楽しいそうです。」「幼稚園にあずけてよかったです。ありがとうございました。」「小学校もみんなと一緒に

なので仲よく過ごしてほしいです。」等々、貴重なご意見をいただくことができました。

給食については、楽しく食べるとともに大切な体をつくるとても大事な栄養を摂取するものなのですが、今は楽しいはずの会話をしないで、お友達との距離を保ちながら黙々と食べる給食の時間となってしまっています。ですから余計に苦手な食べ物が気になってしまいます。食べ物のおいしさをわかっていただくように時間をかけてゆっくり食べることや、食事の楽しさをわかっていただけるようなことを引き続き取り組んでいきたいと思います。そして、早く会話などをしながら楽しく食べられるようになることを期待して、今できることから取り組んで参ります。

また、幼稚園として大切なお子様をお預かりしていますので、「幼稚園にあずけてよかったです。」というご意見はとても力強い応援をいただいたような気がいたしました。

1960年代のアメリカでの話ですが、幼い時(3・4歳)にしつかりと幼児教育を2年間(1日に2.5時間)受けた子たちのグループと幼児教育を受けなかった子たちのグループとを比較する追跡調査があったのだそうです。その結果、40歳時点で、幼児教育を受けたグループの子たちは、高い高校卒業率、高い年間所得額、高い持ち家率、低い犯罪率等々であることが明らかになりました。その理由は、目標に向かって努力する力や我慢する力や友達となかよく力を合わせて何かを成し遂げようとする力など、数字では測れない能力を身につけたことが大きいのだそうです。根気強さや注意深さ、意欲など、感情や心の働きがとても大きく影響しているのだそうです。もちろん知識や記憶力、読み書きなどの力はとても大切ですが、幼児教育でそれらの数字では表せない力がしっかりと身につけていることが大切であるとされています。繰り返しになりますが「幼稚園にあずけてよかったです。」というご意見はとてもうれしく思いました。ありがとうございました。